

製品名: PML (11A3) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16305**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	98kDa

抗原情報

遺伝子名	PML
別名	Protein PML; Promyelocytic leukemia protein; RING finger protein 71; Tripartite motif-containing protein 19; MYL; PP8675; RNF71; TRIM19;
遺伝子 ID	5371.0
SwissProt ID	P29590
免疫原	ヒト PML タンパク質の組み換えタンパク質

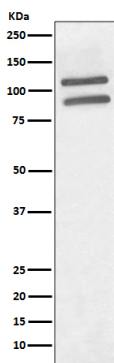
背景

RB1 のリン酸化と活性を調節する。胚発生中の脳皮質の正常な発達に必要。ヘルペスウイルスおよび水痘ウイルスのタンパク質を PML 体の中に隔離し、感染性ウイルス粒子の形成を阻害する。ITPR3 のリン酸化を調節し、小胞体におけるカルシウム恒常性の調節に役割を果たす（類似性による）。ELF4 の転写活性を調節する。PML 核体（PML-NB）との結合を介して、腫瘍抑制、転写調節、アポトーシス、老化、DNA 損傷応答、ウイルス防御機構など、重要な細胞プロセスの広範囲に機能する。PML-NB の足場として機能し、他のタンパク質のシャトルを可能にし、このプロセスは SUMO を介した修飾と相互作用によって制御される。アイソフォーム PML-4 は、アポトーシスと増殖抑制の制御において多面的な役割を果たしています。PP1 ホスファターゼと PP2A ホスファターゼとの相互作用を介して RB1 を活性化し AKT1 を阻害し、MTOR を阻害して PTEN を活性化することで PI3K 経路にマイナスの影響を与え、さまざまなレベルで作用して p53/TP53 をプラスに制御します（アセチル化とリン酸化を促進し、MDM2 依存性分解を阻害することにより）。アイソフォーム PML-4 はまた、細胞老化中に TBX2 の転写抑制因子として機能し、その抑制は機能的な RBL2/E2F4 抑制因子複合体に依存し、WRN との相互作用を介してガンマ線照射誘発性 DNA 損傷応答における二本鎖切断修復を制御し、TERT との相互作用によってテロメラーゼの負の調節因子として機能し、PER2 の核局在と概日機能を制御します。アイソフォーム PML-6 は、PKM の四量体型の活性を特異的に阻害します。核アイソフォーム（アイソフォーム PML-1、アイソフォーム PML-2、アイソフォーム PML-3、アイソフォーム PML-4、およびアイソフォーム PML-5）は SATB1 と協調して、MHC-I 遺伝子座における局所的なクロマチンループプリモデリングおよび遺伝子発現制御に関与しています。アイソフォーム PML-2 は、CIITA の制御を介して、IFN- γ 誘導性 MHC II 遺伝子転写の効率化に必要です。細胞質 PML は、TGF- β シグナル伝達経路の制御に関与しています。PML はまた、ELF4 の転写活性を制御し、TNF- α および IFN- α を介した内皮細胞ネットワークの形成および遊走阻害の重要なメディエーターとして作用します。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



293 細胞溶解物中の PML 発現のウェスタン ブロット分析。